

各小学校施設開放運営協議会ヒアリング内容一覧表

◎ヒアリングについて
 ・令和7年10月～事務局において各運協に順次実施(継続中)
 ・各運協会長、各小学校施設開放管理者、サポーターと対面により聞き取り

	①校庭開放について			②学習プログラムについて		③運営体制について		④民間導入について		⑤やりがいについて	
	令和7年度実施頻度 (回数・曜日)	現状における校庭開放の 負担感について	平日週5日間 開放する場合 負担感あり→○ 負担感なし→×	平日週5日間 開放する場合の課題	現在の学習プログラムの 実施について 負担感あり→○ 負担感なし→×	理由	現運営体制の 継続についての課題	所見・背景等	民間委託に 関する考え	所見・背景等	放課後子供教室を運営する上での やりがい
運協A	週1日 (水)	負担感のない開催頻度で実施しているため、現状維持であれば負担はない。	○	担い手の確保	×	やりがいを感しながら実施できているため。内容を考えるのは難しく、英語教室などは学校の先生と相談しながら内容を決めている。	担い手不足	基本的に保護者OBOGで成り立っている。この層がいなくなると厳しい。	賛成 (共同実施)	学習プログラムの実施にやりがいを感している一方、校庭開放の実施において、民間導入をするのはいいと考える。導入方法は色々あるにしても、民間業者と運協のやり合いのすり合わせができるようにしたい。あらかじめ事業を分けるのも1つの策であるとする。(校庭開放は民間、体験活動は運協)	開催すると50名来てくれてやりがいがある。子供たちからパワーをもらえる。リピーターが来てくれると嬉しい。
運協B	週2.5日 (水・土・日)	負担感のない開催頻度で実施しているため、現状維持であれば負担はない。	○	場所の確保 (施設の調整上ほかの曜日の実施が難しい(学童や使用団体との調整))	○	ノウハウがないため。現状、自主的な企画と実施はできていない。	担い手不足	後継者がいないため、現在携わっている方が引退すると厳しい。	反対	地域の子供は地域で見守ることに意義を感しているため、いまのところ民間委託については考えられない。学校とのやりとりも現状うまくいっている。	小学生が近寄ってきてくれるのがかわい。町で会った時にあいさつしてくれるのが嬉しいと感じる。
運協C	週5.5日 (月・火・水・木・金・日)	人手不足等もないため開催できている。	×		○	調整先が多く対応が難しいため。	担い手不足	多くの大学生がサポートしてくれているが、新たな方が加わらず、現在の方が受験や就職で参加できなくなると厳しい。	賛成 (共同実施)	新しい風が入ることや開放が毎日あることは良いことだと思。ただ、今後も地域の協力として携わっていきたい。	子どもと接することが楽しい。成長を見られたり、刺激をもらえたりして楽しい。
運協D	週2日 (水・土)	負担感のない開催頻度で実施しているため、現状維持であれば負担はない。	○	担い手の確保	○	調整先が多く対応が難しいため。	担い手不足	活動を減らせば継続できる。活動増となれば継続は難しい。キーパーソンがいなくなると続かない。	反対	運協と民間業者の2つがいると制度上よくわからなくなる。現在は、使命感を持って活動に携わっている協力者もいるため、当運協としては民間委託を望まない。	子どもの顔をみるとやっつけてよかったと感じる。
運協E	週4日 (月・水・土・日)	負担感のない開催頻度で実施しているため、現状維持であれば負担はない。	○	担い手の確保	○	調整先が多く対応が難しいため。講師謝金が低く、依頼がしにくいと考えるため。	担い手不足	今の体制でギリギリ実施できていると感じる。	賛成 (完全委託)	現状の体制では平日週5日の開放はできないので、民間委託を導入することにより、利用者の要望に応えることができるのではと思う。	子どもたちと関わることが楽しい。
運協F	週3日 (水・土・日)	人手が不足しているため負担感を感している。	○	担い手の確保	○	ノウハウがないため。講師謝金が低く、依頼がしにくいと考えるため。	担い手不足	人手不足であるため、長期のことを考えるのは難しい。	賛成 (共同実施)	民間委託導入の場合は一括してやっていただきたい。安定かつ継続性を求めるなら賛成である。導入の場合でも、できれば地域の協力として携わっていききたい。	子どもの成長を見られる。サポーターたちも地域活動の意義を感じてもらえているようで嬉しい。
運協G	週2.5日 (水・土・日)	負担感のない開催頻度で実施しているため、現状維持であれば負担はない。	×	来年度より平日週5日開催予定 (水曜日はランドセルのままOK)	×	やりがいを感しながら実施できているため。一方で、スペースの調整には苦慮している。	担い手不足	今のところできているが、協力者不足が課題である。基本的に管理者と会長の2人で運営を行っており、事務補助がほしいと感じる。	賛成 (共同実施)	同じ方向を向いて、常駐して事務を行ってくれる人がいるとありがたいので、民間導入をするのは賛成。ただ、自分たちとしては今後も放課後子供教室には地域の協力として携わっていききたい。	子どもたちが楽しんでいる姿、ニコニコしている姿、会ったら声かけてくれることなどが嬉しい。色々な世代の保護者と関われるのも楽しい。やりがいはとてもある。
運協H	月2回 (水・日)	負担感のない開催頻度で実施しているため、現状維持であれば負担はない。	○	担い手の確保 (ただ、過去に週5日開放の実績があるが近くに大きな公園があるため参加者が来なかった)	×	現状維持であれば負担はないため。	担い手不足	人手不足を感している。現役の保護者は5名。学校に在籍している方がいなくなると厳しい。	賛成 (共同実施)	今後も地域の協力として携わっていききたい。混在しないように民間業者とのすみ分けができるようにしてほしい。	子どもと関わると元気になる。子どもの発想から学ぶこともある。自分のことを覚えてくれると嬉しい。
運協I	週3.5日 (月・水・土・日)	負担感のない開催頻度で実施しているため、現状維持であれば負担はない。	○	担い手の確保	○	調整先が多く対応が難しいため。	担い手不足	今の人員であれば当面は問題なく継続できると思うが、サポーターが高齢なため後継者を探す必要がある。	賛成(共同実施)	開放日数を増やす目的で民間導入することは子供たちのことを考えるといいことなのではないかと思う。そのうえで地域の方たちの参画についてもバランスをとりながら民間業者と協力して行えるといいと思う。	子どもたちが楽しそうにしている姿、家族連れが微笑ましく過ごしている姿を見ると嬉しい。
運協J	週5日 (月・火・水・木・金)	協力者が多く、皆ができるときにできる活動をしており、負担を感していない。	×		×	やりがいを感しながら実施できているため。協力者が多いため。	担い手不足	現在の運営体制には課題はないが、長期的に見ると、主要メンバーの業務量に偏りがある状況であり、その方がいなくなっても活動が継続できる体制を考える必要がある。	反対	校庭開放も平日週5日開催しており、学習プログラムも地域の方々それぞれの長所を活かしながら、負担なく楽しく活動しており、新たな活力導入の意義を感していないため。	子供の成長がみられることにやりがいを感している。大人としても放課後子供教室は地域活動の入り口のような役割を担っており、この活動を通してほかの地域活動に繋げていくことができる。